

トピックス

● 中瀬製錬所にて空気輸送装置の導入

3月に中瀬製錬所(兵庫県養父市)の三酸化アンチモンの一部製品の工程に空気輸送装置を導入しました。従来は粉末の製品をコンテナに充填し、リフトで輸送しており、作業中に粉じんが発生することが課題でした。三酸化アンチモンは特定化学物質等障害予防規則の対象となっており、作業者の健康障害を予防するために、関係施設の改善や作業環境の整備が求められております。今回の装置導入により、製品を密閉されたラインで輸送するために、粉じんが発生せず、品質の保持と作業環境の改善、さらには省人化による生産性の向上にもつながるものであります。



● 子会社の日本アトマイズ加工株式会社がテント倉庫を設置

日本アトマイズ加工のつくば工場(茨城県牛久市)では電子部品向けの各種金属粉末を製造しております。電子部品市場において、デジタル技術の進化や自動車の電装化などにより、需要の拡大が見込まれており、お客様からはさらに高品質で、高機能な製品の安定供給を求められています。付加価値のある製品の開発や生産能力増強に備え、関連機器類の組み立てや保管を目的で、4月に床面積264㎡のテント倉庫を設置し、周辺を駐車場として使用するための舗装を行いました。



会社概要 (2022年3月31日現在)

社名	日本精鉱株式会社 NIHON SEIKO CO., LTD.
設立	1935年6月11日
本社所在地	東京都新宿区下宮比町3番2号 電話03-3235-0021(代表)
資本金	10億18百万円
事業内容	各種アンチモン製品等及び 各種金属粉末等の製造・販売
証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
会計監査人	EY新日本有限責任監査法人
従業員数	連結 234名 単体 85名
連結子会社	日本アトマイズ加工株式会社 千葉県野田市 (各種金属粉末等の製造・販売) 日錫精礦(上海)商貿有限公司 中国上海市 (各種アンチモン製品等の販売)

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
基準日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月下旬
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	0120-232-711(フリーダイヤル)
株式に関するお手続きについて(住所変更・買取請求等)	1. 証券会社等の口座をご利用の場合 お取引の証券会社等にお問い合わせください。 2. 証券会社等の口座をご利用でない場合(特別口座) 三菱UFJ信託銀行(電話0120-232-711)までお問い合わせください。
公告方法	電子公告< https://www.nihonseiko.co.jp > (ただし、やむを得ない事由によって電子公告ができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。)



第127期 報告書

2021年4月1日～2022年3月31日

株主の皆様へ

日本精鉱グループは
グループ力を発揮し、
持続可能な事業の
成長に向け、
チャレンジします



代表取締役社長
植田 憲高

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループの第127期(2021年4月1日～2022年3月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続いたものの、持ち直しの動きがみられました。自動車や電気機器など、製造業の生産活動が回復基調となり、感染予防対策から生じたワークスタイルの変化により、テレワークなどに代表される仕事や業務の効率化と働き方の改革を目指すデジタルトランスフォーメーションに活用される電子機器産業は引き続き堅調さを維持いたしました。

このような環境下、当社グループは感染予防対策を実行しつつ、操業を継続し、国内外での販売力の強化に努めるとともに、コストダウンの実行、製造力及び技術力のブラッシュアップ、様々な工程や業務での生産性向上、そして新たな材料開発にも取り組んでまいりました。

これらの結果、当期の売上高は前期比52.0%増の17,097百万円、営業利益は同83.4%増の2,191百万円、経常利益は同86.0%増の2,246百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同89.4%増の1,540百万円となり、過去最高益を記録いたしました。

なお、当期の期末配当金は、1株当たり90円とさせていただきます。中間配当金と合わせ、当期の年間配当金は前期比75円増配して、1株当たり140円となります。

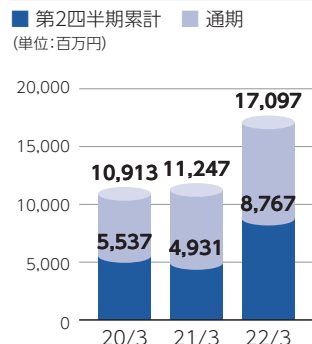
株主の皆様におかれましては、より一層のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月

連結財務ハイライト

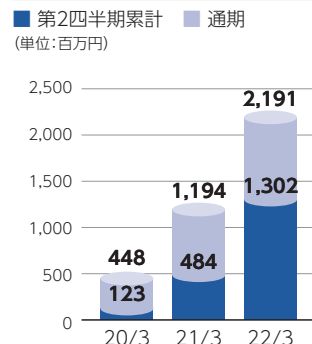
● 売上高

17,097百万円



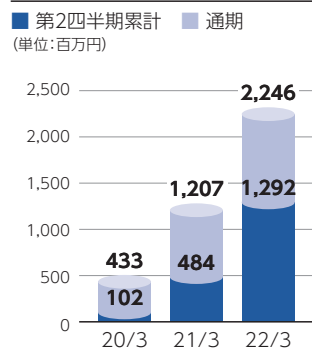
● 営業利益

2,191百万円



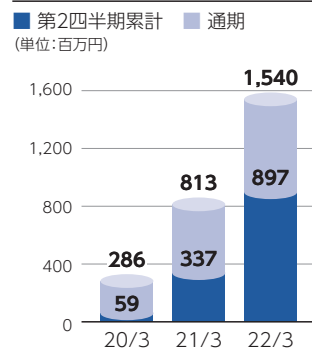
● 経常利益

2,246百万円



● 親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益

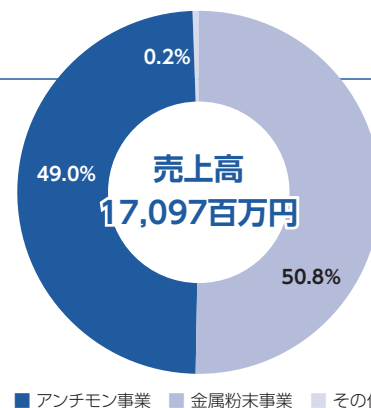
1,540百万円



セグメント別概況(連結)

● アンチモン事業

主製品の三酸化アンチモンは難燃助剤として、広範な産業分野に使われています。自動車や家電分野などでの需要が回復したことによる販売数量の増加と販売価格の上昇により、売上高は前期比81.2%増収の8,373百万円、セグメント利益は原料アンチモン地金価格の上昇により、同985.5%増益の771百万円となり、大幅な増収増益となりました。



● 金属粉末事業

電子部品向けはテレワークや教育などのオンライン化の普及で通信機器端末の需要が増え、DX推進により、データセンター・5G関連需要が引き続き堅調でした。主に自動車部品に使われる粉末冶金向けも需要が底堅く推移いたしました。売上高は販売数量の増加と販売価格の上昇により、前期比31.6%増収の8,692百万円、セグメント利益は同27.0%増益の1,388百万円となりました。

連結財務諸表

● 連結貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

	当連結会計年度 (2022.3.31)	前連結会計年度 (2021.3.31)
資産の部		
流動資産	9,793,667	7,759,378
固定資産	5,046,406	4,453,704
(有形固定資産)	4,469,011	3,966,821
(無形固定資産)	111,046	81,404
(投資その他の資産)	466,348	405,477
資産合計	14,840,073	12,213,082
負債の部		
流動負債	4,510,626	3,588,645
固定負債	1,030,855	658,020
負債合計	5,541,481	4,246,665
純資産の部		
株主資本	9,255,020	7,934,050
その他の包括利益累計額	43,571	32,366
純資産合計	9,298,591	7,966,417
負債純資産合計	14,840,073	12,213,082

● 連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

	当連結会計年度 (2021.4.1～2022.3.31)	前連結会計年度 (2020.4.1～2021.3.31)
売上高	17,097,801	11,247,358
売上総利益	3,282,838	2,117,480
営業利益	2,191,550	1,194,816
経常利益	2,246,578	1,207,868
税金等調整前当期純利益	2,243,891	1,183,990
当期純利益	1,540,990	813,684
親会社株主に帰属する当期純利益	1,540,990	813,684